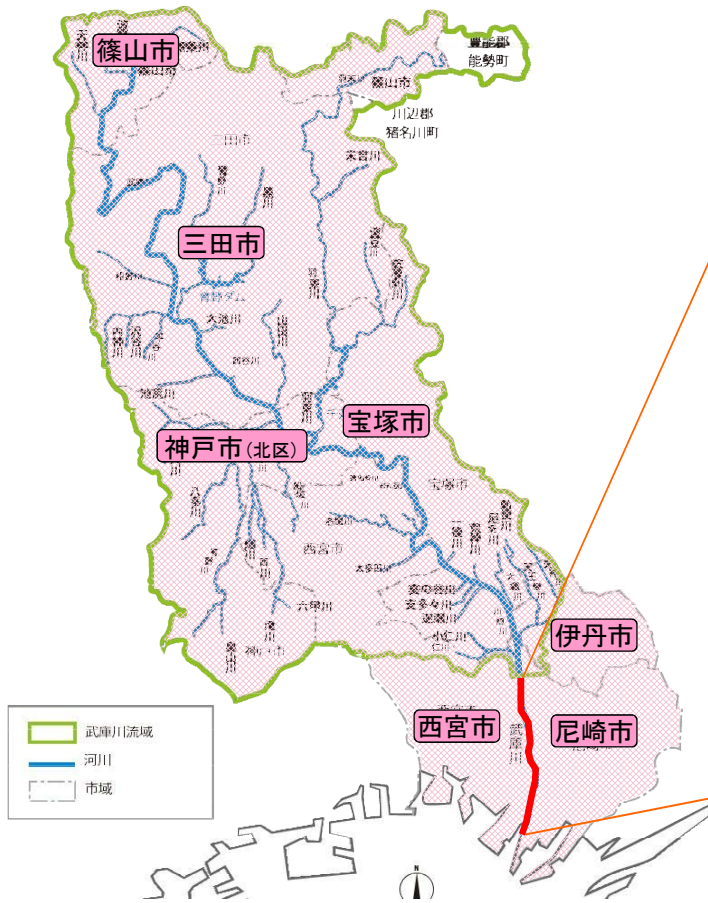


武庫川水系
河川整備事業の説明資料

平成23年8月

兵庫県

流域図



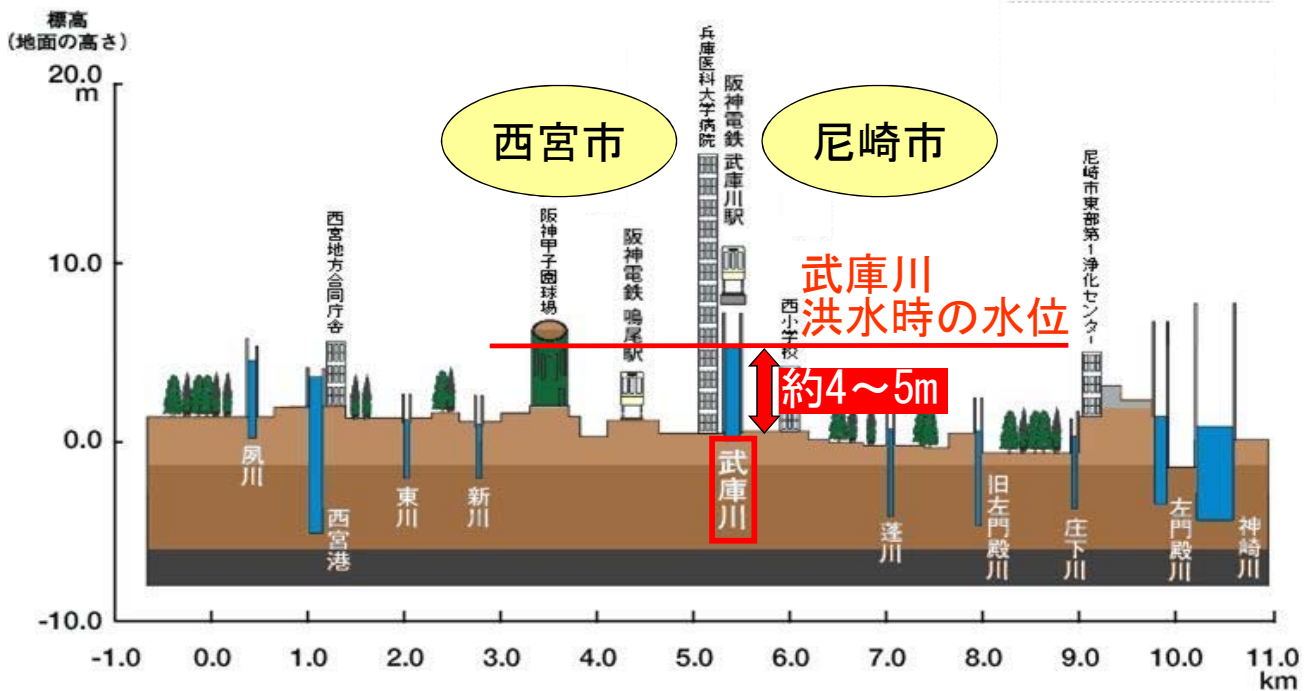
築堤区間 (仁川合流点から下流)



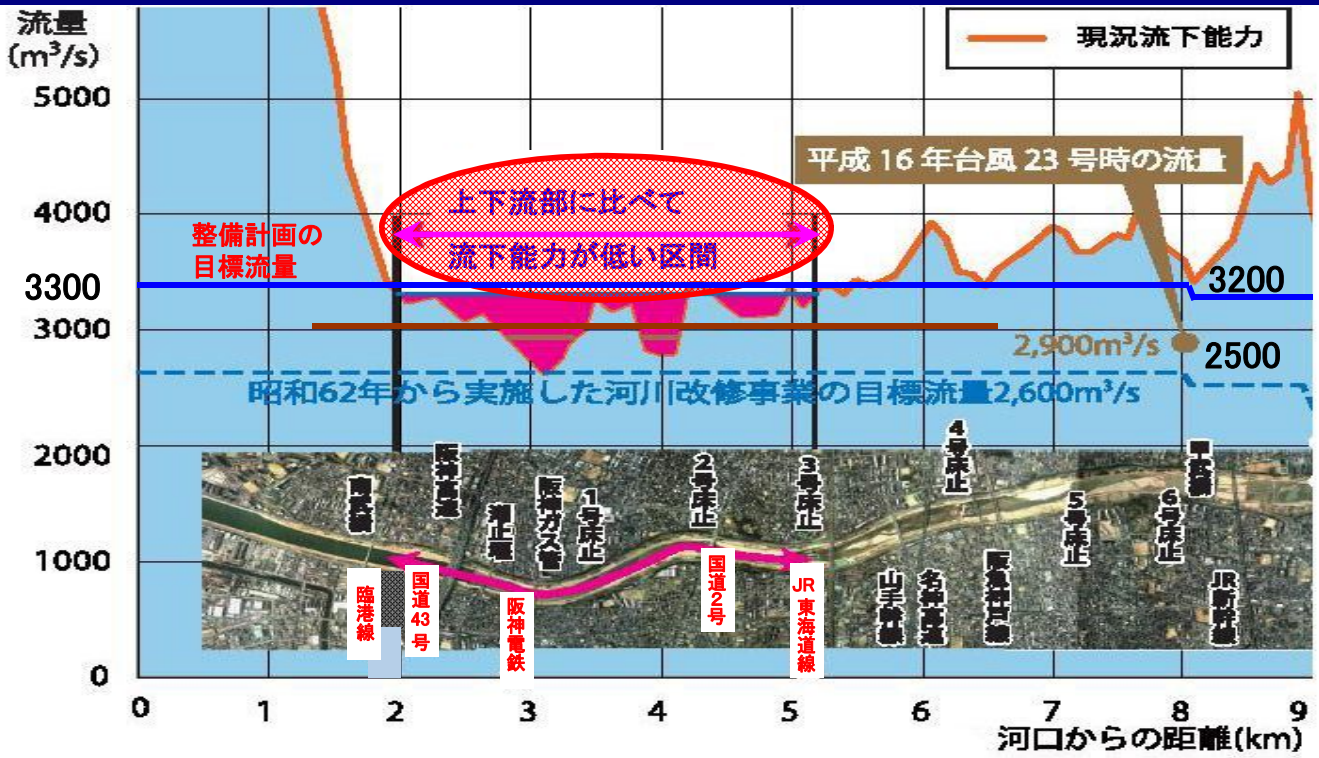
築堤区間は...

- ★ 武庫川の下流は「築堤区間」です。
- ★ 洪水時の水位は、**地盤よりも4～5m高い**ところになります。
- ★ 築堤区間で堤防が決壊すれば、**甚大な被害が発生**すると想定されます。

この断面



流下能力は...



- ★ 下流部築堤区間は、昭和62年から目標流量2,600m³/sで改修してきました。
- ★ 平成16年台風23号時には、2,900m³/sの流量があり、流下能力を超えた区間がありました。
- ★ 下流部築堤区間（特に臨港線～JR東海道線付近）の改修は、喫緊の課題となっています。

武庫川下流部の想定氾濫区域

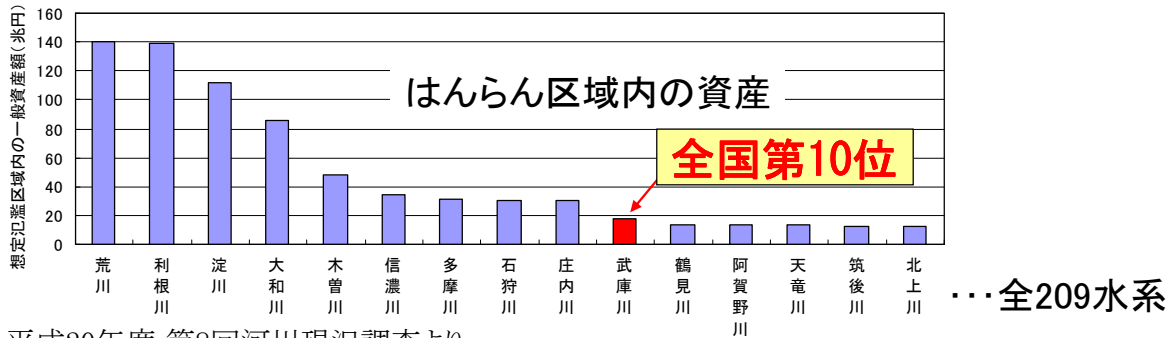
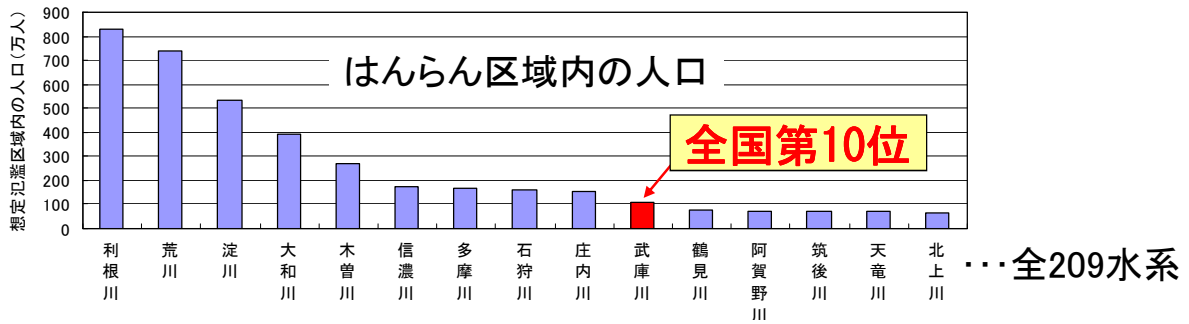


氾濫区域内の人口：約110万人
被害を受ける資産：約18兆円

堤防が破堤すれば、大きな被害となってしまいます。

国管理河川と肩を並べる武庫川

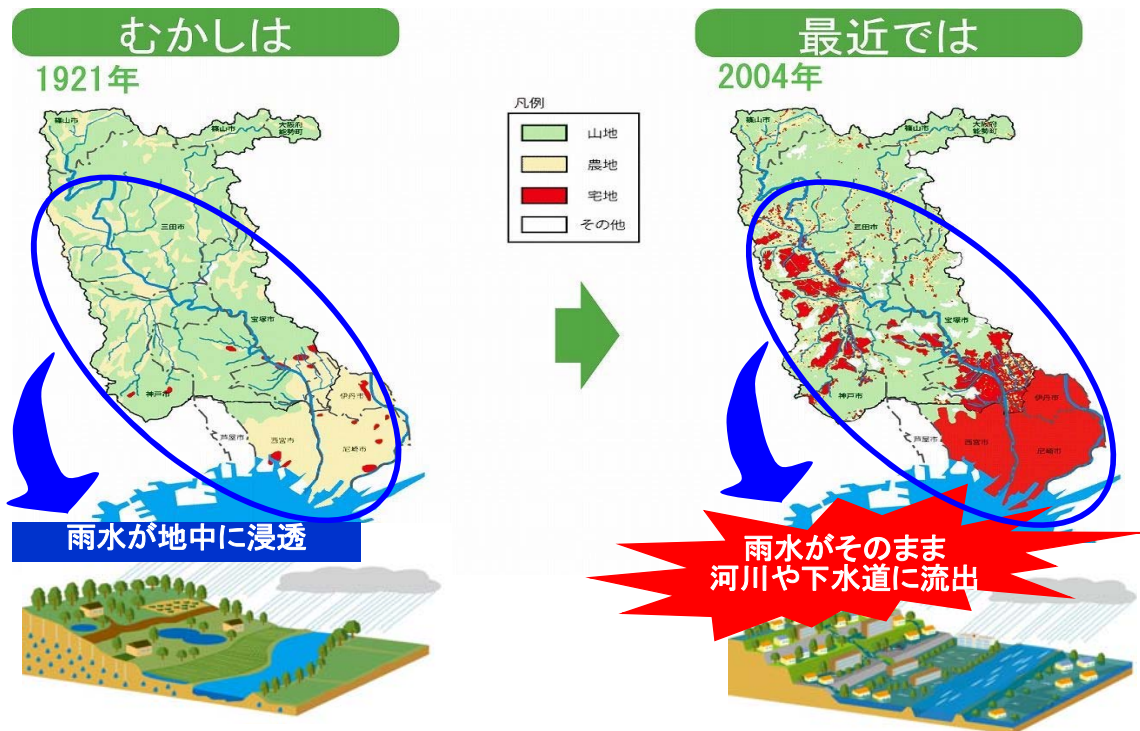
全国10位・・・



平成20年度 第8回河川現況調査より

全ての一級水系(109水系)及び主要な二級水系(100水系)を対象とした調査。
 想定氾濫区域内人口・資産の上位15水系のうち、二級水系は武庫川のみ。

流域の状況



- ★市街化の進展による流域の保水・貯留能力の低下
- ★低平地への人口・資産が集中

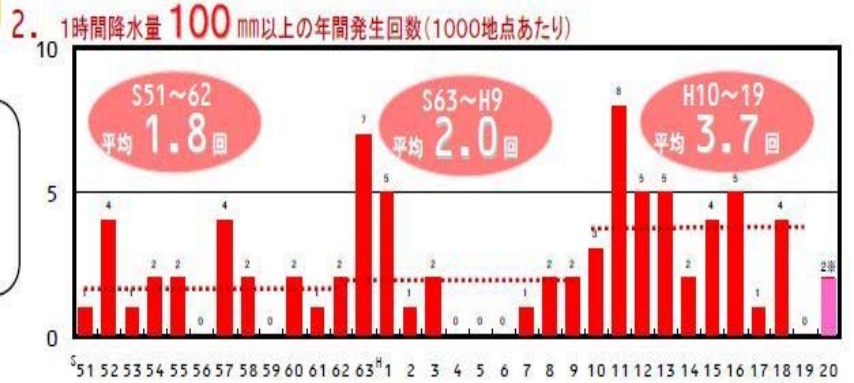
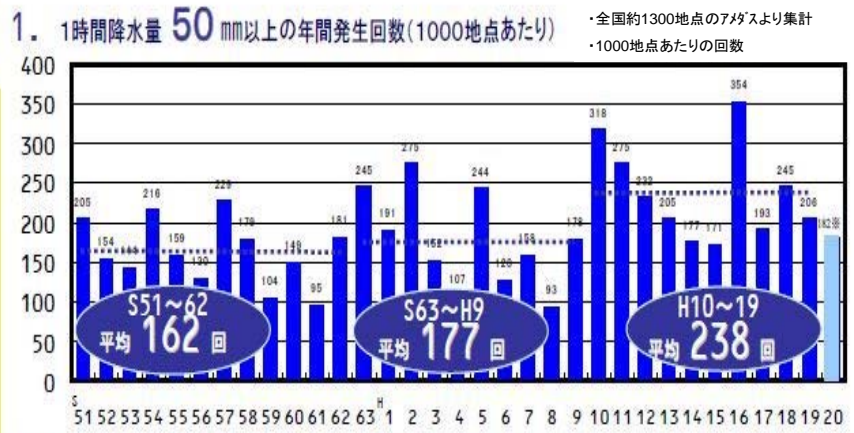
近年の降雨の傾向

(出典:国土交通省 平成20年水害レポート2008)

近年の降雨の傾向

集中豪雨の発生が増加している
 最近10年(H10-19)と
 約30年前(S51-62)を比較すると
 時間50mmの豪雨は、**約1.5倍**
 時間100mmの豪雨は、**約2.1倍**
 に増加

時間50mm以上の雨は『**非常に激しい雨**』
 時間80mm以上の雨を『**猛烈な雨**』と表現され、
 視界が悪く車の運転等に危険を生じる。
 出典:気象庁HP雨の強さと降り方より



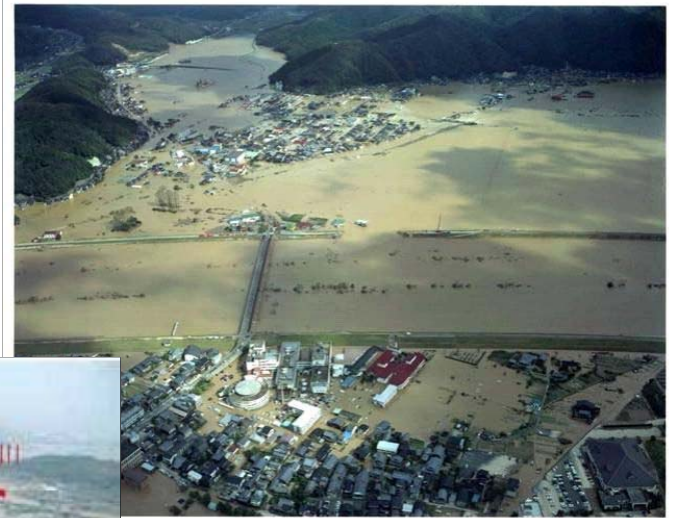
資料)気象庁資料より作成 ※H20は9月2までのデータによる

水 害

平成21年台風9号
 兵庫県 佐用町 久崎地区



平成16年台風23号
 兵庫県 豊岡市



平成16年台風23号
 兵庫県 豊岡市

武庫川増水 住民ら避難

台風23号



道路崩れ、橋流失

「過去10年で最高の水位」



河川の増水で避難してきた住民たち。西宮市立高島中学校

西宮市立高島中学校で避難している住民ら。犬も避難させてきた。西宮市立高島中学校

神戸新聞 H16. 10. 21

台風23号

武庫川あふれ民家浸水

阪神間 道路陥没や土砂崩れ続発



武庫川の増水で陥没した道路 (20日午後8時ごろ、西宮市生瀬(武庫川側))



道路陥没で倒れた電柱 (午後8時15分ごろ、西宮市生瀬(武庫川側))

高気圧と台風23号の勢力が重なって、西宮市生瀬(武庫川側)で、武庫川が過去10年で最高の水位に達した。武庫川沿いの民家は浸水し、道路は陥没や土砂崩れが続発している。

西宮市生瀬(武庫川側)で、武庫川が過去10年で最高の水位に達した。武庫川沿いの民家は浸水し、道路は陥没や土砂崩れが続発している。

武庫川沿いの民家は浸水し、道路は陥没や土砂崩れが続発している。

武庫川沿いの民家は浸水し、道路は陥没や土砂崩れが続発している。

読売新聞 H16. 10. 21

西宮市名塩木之元リバーサイド住宅(武庫川) 平成16年10月20日 (台風23号)



平成16年の水害 事例③（武庫川）

〈上流部〉

篠山市南矢代



〈中流部〉

宝塚市武田尾



〈中流部〉

西宮市生瀬



〈下流部〉 尼崎市 阪神電鉄橋梁



水害からの教訓

- ★ …**河川整備だけで**未曾有の豪雨による想定以上の洪水をコントロールすることは**不可能**…
- ★ …**河川が溢れることはあり得る**ということをし、住民に知らせる…
- ★ …「自分の命は自分で守る」、「自分たちの地域は自分たちで守る」という**自助・共助意識の喚起**が必要…

(兵庫県台風9号災害検証委員会 提言より)

- ★ …行政や管理の枠組みを越えて、**流域全体の視点**から水害の**総合的な対策**に取り組む必要…

(兵庫県台風23号検証委員会 提言より)

流域委員会等での審議

ダム建設に対する様々な意見や平成9年の河川法改正の流れを受け、学識経験者や地域住民等の幅広い意見を聴きながら、総合的な治水対策についてゼロベースから検討

★ 流域委員会での河川整備基本方針及び河川整備計画に関する審議

- ・ 期間 平成16年3月～平成22年9月（6年半）
 - ・ 委員人数 23人（H22.10.5答申時）
 - ・ 会議回数等
- | | |
|-----------|------|
| 流域委員会 | 68回 |
| 運営委員会・WG等 | 239回 |
| 計 | 307回 |

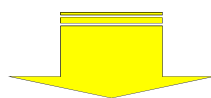
★ パブリック・コメント（県民意見提出）手続

- ①武庫川水系河川整備基本方針（案）
 - ・ 期間 平成19年11月16日～12日6日
 - ・ 意見提出 315者、1,136項目
- ②武庫川水系河川整備計画（案）
 - ・ 期間 平成22年10月12日～11日1日
 - ・ 意見提出 53者、202項目



河川整備計画の作成にあたって重視した考え

- ★ 今後も、河川対策を着実に進めることは重要です。
- ★ しかし、河川対策だけでは、県民の皆様の「いのち」と「くらし」を守るには限界があります。
- ★ また、想定を越える事態においても、第一に人的被害の回避・軽減を図ること、第二にライフライン等守るべき機能を明確にして防御することにより、県民生活や社会経済活動への深刻なダメージを回避することが重要です。



従来の「河川対策」に、「流域対策」と「減災対策」を加えた「総合的な治水対策」が必要です。